

# 在宅情報マガジン てまり H28.09 号

こんにちは。9月に入り、残暑がつづいていますがいかがお過ごしでしょうか。

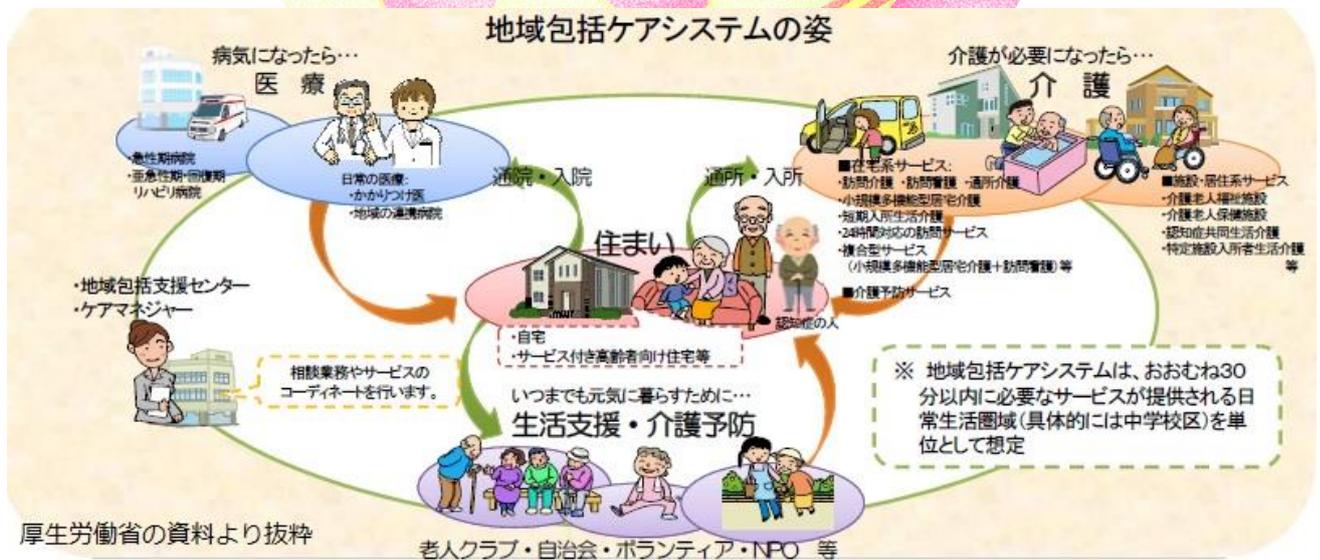
地域交流施設サロン・すいせんで、大牟田市長寿社会推進課の介護予防・日常生活支援総合事業に関する地域説明会での資料を参考に、介護保険サービスについての講演が行われました(8月25日)。

●65歳以上人口と15～64歳人口の比率が1：1.2となり、社会全体の担い手や人材が不足していく

●人口構造の変化とともに、現行の方法では社会保障制度を維持していくことが困難になる



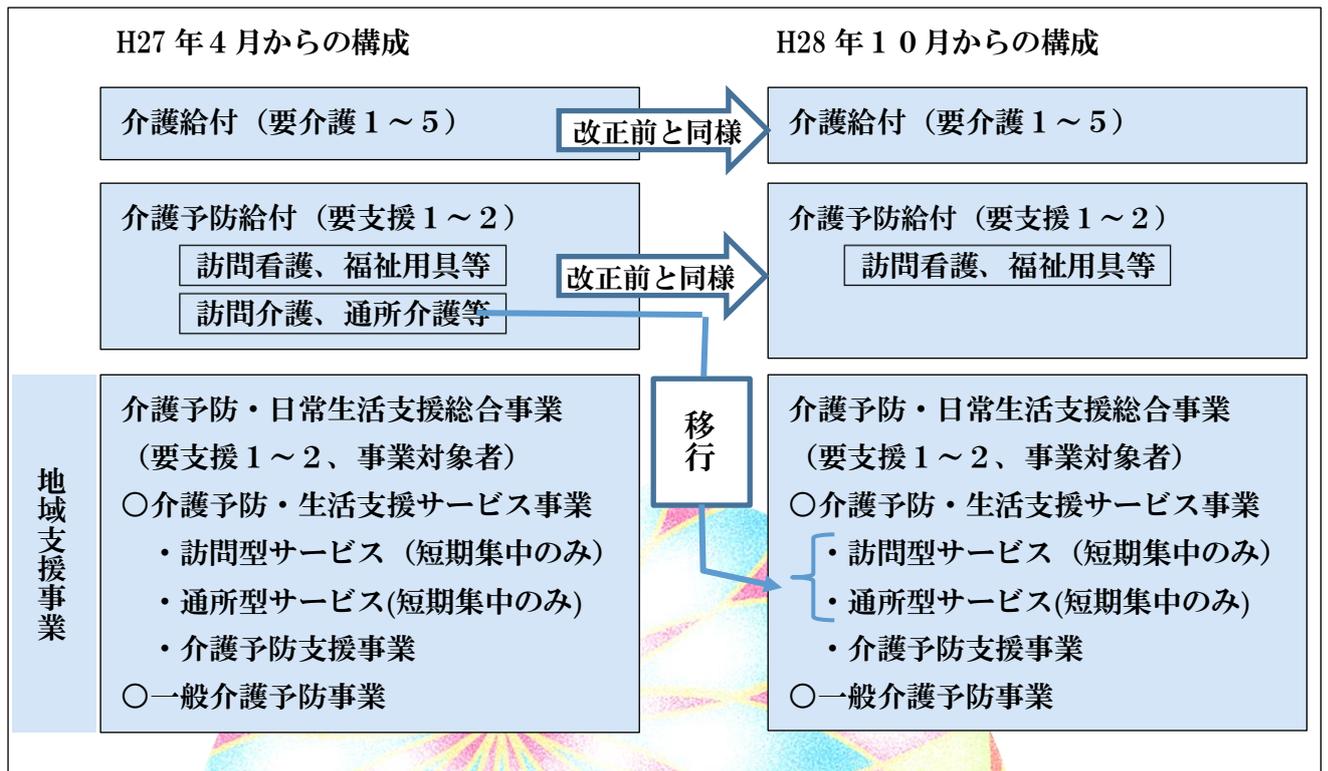
○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していくことが重要です。



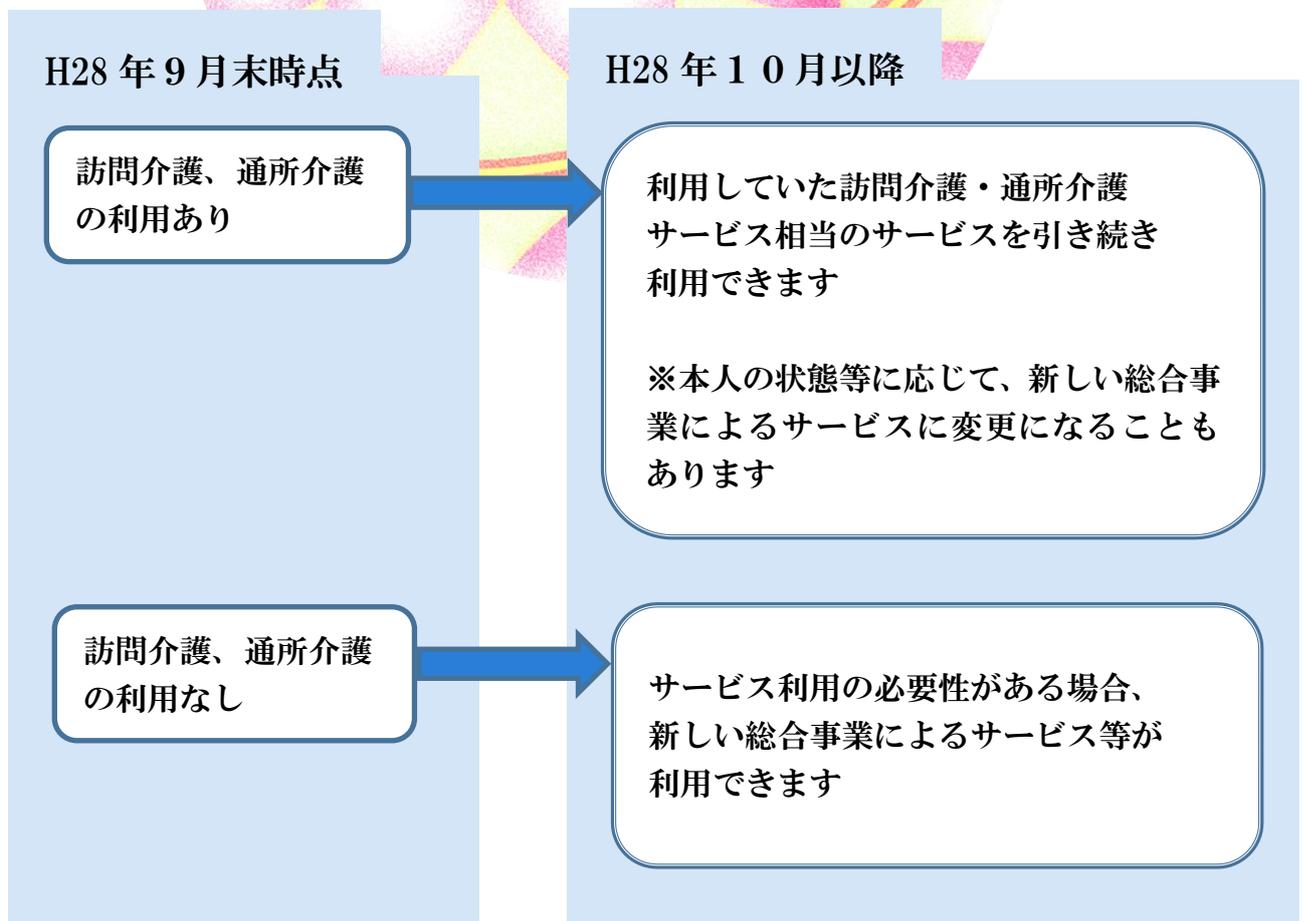
## ●介護保険制度とは？

高齢による身体機能の衰えや、病気やケガなどによって介護が必要になったときには、介護サービスを提供する公的介護保険制度を利用することができる。平成12年4月にスタートしたもので、介護が必要な人とその家族をできる限り社会全体で支えるための公的なサービスであり、利用者がサービスの種類や事業者を選ぶことができる。利用限度額の範囲であれば1割～3割の利用者負担でサービスを受ける事ができる。

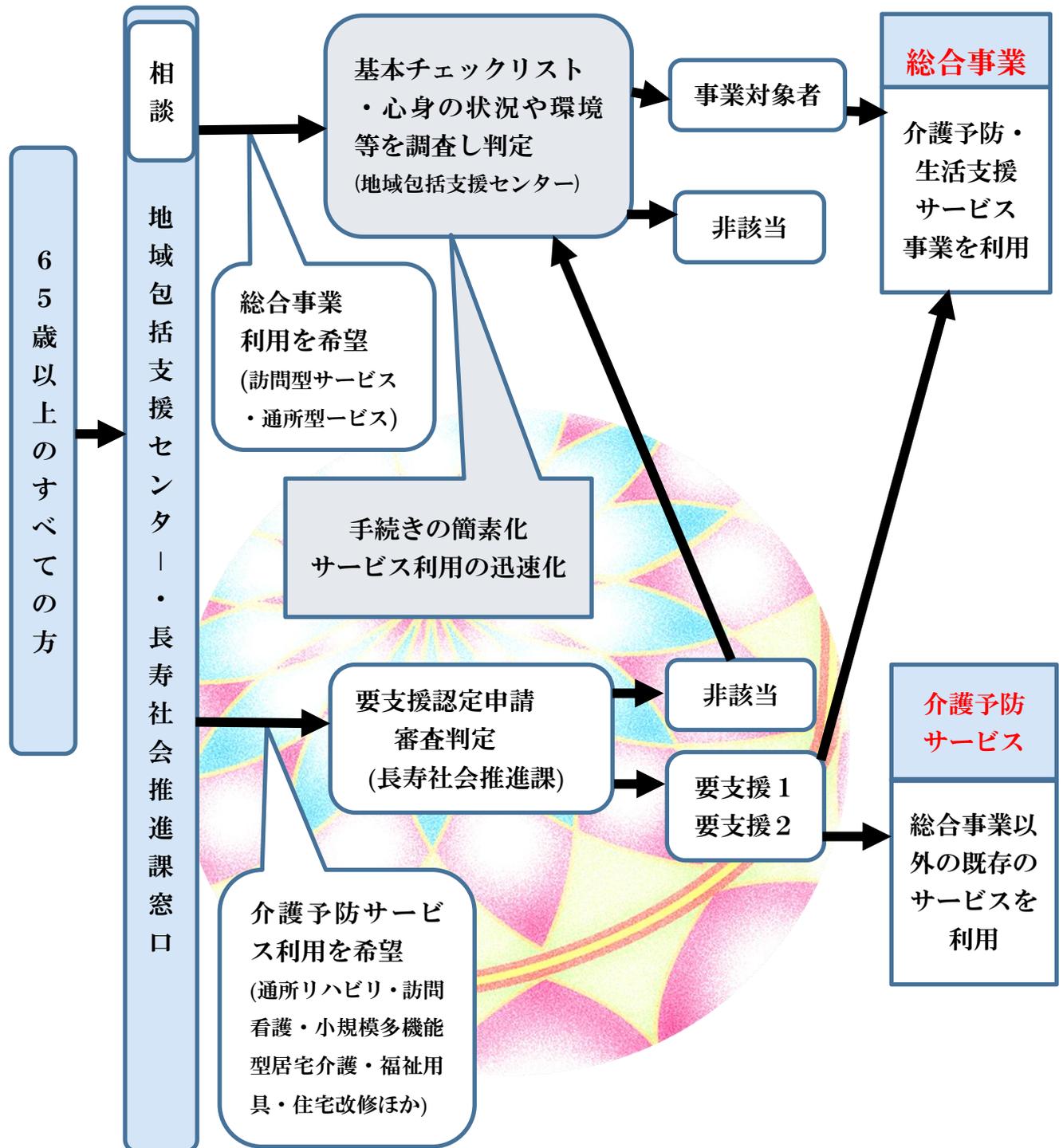
●平成28年10月から要支援1・2の訪問介護と通所介護が「新しい総合事業」へ



●平成28年9月末時点で訪問介護、通所介護を利用している人の10月以降のサービス利用



●総合事業（サービス事業）利用の流れ



●大牟田地域住民医療・介護情報共有拠点事務室 OSKER

大牟田の医療・介護施設情報を掲載しています。どなたでも好きな写真を投稿できるギャラリーを製作いたしましたのでご紹介いたします。次号はソーシャルワーカーの仕事をご紹介します。

TEL 0944-57-2007

Web サイト <https://osker.org/>